

第三次評定（土木工事）

考 査 項 目	細 別	工 種	様 式	
2 施工状況	I 施工管理		3-1	
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形	土木工事	3-2-1	
		機械設備工事	3-2-2	
		電気設備工事・通信設備工事・受変電設備工事	3-2-3	
	II 品質	コンクリート構造物工事	3-3-1	
		土工事（切土、盛土、築堤等工事）	3-3-2	
		河川工事 —護岸・根固・水制を含む—	3-3-3	
		鋼橋 —RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる—	3-3-4	
		砂防構造物工事及び地すべり防止工事（集水井戸工事を含む）	3-3-5	
		舗装工事	3-3-6	
		海岸工事	3-3-7	
		法面工事	3-3-8	
		基礎工事及び地盤改良工事	3-3-9	
		コンクリート橋上部工事（PC及びRCを対象）	3-3-10	
		塗装工事	3-3-11	
		トンネル工事	3-3-12	
		公園・植栽工事	3-3-13	
		防護柵（網）・標識・区画線等設置工事	3-3-14	
		機械設備工事	3-3-15	
		電気設備工事	3-3-16	
		通信設備工事・受変電設備工事	3-3-17	
		維持修繕工事	3-3-18	
		その他の工事又は合併工事	3-3-19	
		港湾築造工事 —浚渫・海岸築造工事を含む—	3-3-20	
		道路改良工事	3-3-21	
		歩道工事	3-3-22	
		電線共同溝工事	3-3-23	
		上下水道工事	3-3-24	
		側溝水路工事（二次製品）	3-3-25	
		アンカー工事	3-3-26	
		III 出来ばえ	コンクリート構造物工事、砂防構造物工事、海岸工事、トンネル工事	3-4-1
			土工事（盛土、築堤等工事）	3-4-2
			切土工事	3-4-3
			河川工事	3-4-4
			鋼橋工事	3-4-5
			地すべり防止工事	3-4-6
			舗装工事	3-4-7
	法面工事		3-4-8	
	基礎工事（地盤改良等を含む）		3-4-9	
	コンクリート橋上部工事		3-4-10	
	塗装工事（工場塗装を除く）		3-4-11	
	公園・植栽工事		3-4-12	
	防護柵（網）工事		3-4-13	
	標識工事		3-4-14	
	区画線工事		3-4-15	
	機械設備工事		3-4-16	
	電気設備工事		3-4-17	
	維持修繕工事		3-4-18	
電線共同溝工事	3-4-19			
通信設備工事・受変電設備工事	3-4-20			
港湾築造工事（海岸築造工事を含む）	3-4-21			
港湾浚渫工事（地盤改良工事を含む）	3-4-22			
ブロック製作工事（ケーソン陸上製作工事を含む）	3-4-23			
側溝・水路工事	3-4-24			
歩道工事	3-4-25			
道路改良工事	3-4-26			
上下水道工事	3-4-27			
アンカー工事	3-4-28			
その他の工事又は合併工事	3-4-29			
8 総合評価方式				3-5

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2	I 施工管理	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -7.5	配点： -15.0
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		<p>対 評 象 価</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 (請負額1,000万円以上)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きが事前に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 (請負額1,000万円以上)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____ _____）</p> <p>該当項目が90%以上 …… a 該当項目が80%以上90%未満 …… b 該当項目が80%未満 …… c</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価地（%）＝評価数／評価対象項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				
		<p>評定値(%)＝ 評定： _____ 配点： _____</p>				

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a´	b	b´	c	d	e
3	I	出来形 機械設備工事	配点： +10.0	配点： +7.5	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -10.0	配点： -20.0
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
			<p>対 評 象 価</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	
<p>該当項目が90%以上 …… a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 …… a´</p> <p>該当項目が70%以上80%未満 …… b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満 …… b´</p> <p>該当項目が60%未満 …… c</p>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝評価数／対象評価項目数×100</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>						
<p>評定値(%) =</p> <p>評定： 配点：</p>									

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a´	b	b´	c	d	e
3	I	電気設備工事・通信設備工事・受変電設備工事	配点： +10.0	配点： +7.5	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -10.0	配点： -20.0
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
			<p>対評価</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	
<p>該当項目が90%以上 …… a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 …… a´</p> <p>該当項目が70%以上80%未満 …… b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満 …… b´</p> <p>該当項目が60%未満 …… c</p>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>						
<p>評定値(%) =</p> <p>評定： 配点：</p>									

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
			配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
3	II	品質 コンクリート構造物工事	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照）</p> <p>〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙－4参照</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。</p>																												
			<p>対評価</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行なっていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行なっていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</p>							<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																											
<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
<p>評定値（%）＝</p> <p>評定： _____ 配点： _____</p>																																					

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3	II 品質	土工事（切土、盛土、築堤等工事）	配点：+15.0	配点：+12.0	配点：+7.5	配点：+4.0	配点：0	配点：-12.5	配点：-25.0																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																												
			対評価 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																		
			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																		
			●判断基準																																		
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		
			評定値(%) = _____ 評定： _____ 配点： _____																																		

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
			配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																														
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	河川工事 — 護岸・根固・水制を含む—	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																													
			<p>対評価 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いように行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植栽工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘り箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> 盛土・掘削工にあたって、地形・地質の軟弱・現地の状況・気象条件等に応じて安全に施工した。 <input type="checkbox"/> 掘削工では、施工中の地山の動きに注意し、他の施設に影響を与えることなく平滑に規定断面を仕上げた。 <input type="checkbox"/> 床掘り仕上がり面等において、地山を乱さないように、かつ不陸が生じないように施工した。 <input type="checkbox"/> 法面整形にあたって、法面崩壊が起こらないように施工した。 <input type="checkbox"/> ブロック等は凹凸が無く、表面が平滑である。 <input type="checkbox"/> 石やブロック等は、裏込め材などにより空隙がなく、地山との一体性を確保できている。 <input type="checkbox"/> 地山の流出、侵食等が生じないように施工した。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</p>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																															
			<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>						ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c				
	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																			
	50%以下	80%以下	80%を超える																																				
90%以上	a	a'	b	b																																			
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
60%未満	b'	c	c	c																																			
			<p>評定値(%) = 評定： _____ 配点： _____</p>																																				

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
			配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																											
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	鋼橋—RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる—	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																										
			<p>対評価 【工場製作関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗装面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） <p>【架設関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認をおこなっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） 					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																												
<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>						ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
<p>評定値（%）＝ 評定： _____ 配点： _____</p>																																				

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3	II	品質 砂防構造物工事及び地すべり防止工事（集水井戸工事を含む）	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																													
出来形及び出来ばえ			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																														
			対評価 【共通】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件や気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） 【砂防構造物工事に適用】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） 【地すべり対策工事（抑止杭・集水井戸工事を含む）】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 検尺について監督員の立合または、指示により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地すべり状況を把握し、掘削中の地盤構造、湧水の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地山との取り合いがよい。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）				① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。																															
			評定値(%) = _____ 評定： _____ 配点： _____				●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
90%以上	a	a'	b	b																																		
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
60%未満	b'	c	c	c																																		

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
			配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0		
3	II	品質 舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。	
			対評価 【路床・路盤関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のプルーフローリングを行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） 【アスファルト舗装関係】 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石など有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしている。 <input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） 【コンクリート舗装関係】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石など有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェアー及びダイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場 </div>			
評定値(%) = 評定： _____ 配点： _____											

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
			配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
3	II	品質 海岸工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																												
			対評価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠および支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬、打設、締固めが気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行なっている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験により、適切なコンクリートの規格（強度・w/c、最大骨材粒径、塩基総量等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、温度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） _____																																		
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																					
●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評定値（%）＝ 評定： 配点：																																					

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
			配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0		
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。	
			対評価 【共通】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） 【種子吹付工、客土吹付工、植生機材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） 【現場打法枠工関係（プレキャスト法枠工を含む）】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の規格・品質が適正であり、証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 枠のかみ合わせが正しく滑動しないように積み上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）					① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
評定値(%)＝ 評定： _____ 配点： _____											

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	基礎 土工 事及 び 地盤 改 良 工 事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																																	
			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																																	
			対 評 象 価 【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打ち、深礎等）】 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2 m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ラオナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																																	
			【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、ステリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																																	
			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。																																							
			●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c				
	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																						
	50%以下	80%以下	80%を超える																																							
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																					
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																					
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																					
	60%未満	b'	c	c	c																																					
			注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																							
			評定値(%) = _____ 評定： _____ 配点： _____																																							

工事成績採点の考查項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考查項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
			配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
3	II	品質 コンクリート橋上部工事（PC及びRCを対象）	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。</p>																												
			<p>対評価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>																														
			<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			<p>評定値(%) = 評定： 配点：</p>																																		

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	トンネル工事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
			<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4参照</p>			<p>□ 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>			<p>□ 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。</p>																												
			<p>対評価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付けコンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ロックボルト定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 逆巻の場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目が同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																														
			<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			<p>評定値(%) = 評定： _____ 配点： _____</p>																																		

工事成績採点の考查項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考查項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	公園植栽工事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																												
対評価			<p>【共通】</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のプルフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 石積み、二次製品側溝等で材料のかみ合わせ又は連結が適正で、裏込め材等の沈下、崩壊又は漏水の恐れがないことが確認できる。 <p>【舗装工・表層工】</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合報告書により、適切な混合物の規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> クレー（混合土）表層材料の混合が入念に行われ、品質が均一であることが書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 平板、レンガ、タイル舗装等の目地に目違いがなく、共通仕様書に定められたとおり処理されていることが確認できる。 <p>【植栽工・緑化工】</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <p>【付属物・設備工】</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製品、機器の機能、性能が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製品、機器の配置に創意工夫がなされ、全体機能のバランスが良い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地下埋設物が設計図書に基づき適正に施工されており、記録により確認できる。																																		
			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																																		
			<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
<p>評定値(%) =</p> <p>評定： 配点：</p>																																					

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	防護柵（網） ・標識・区画線等設置工事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
			<p> <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照 </p> <p> 対評価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 区画線を消去した場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 区画線が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） </p>							<p> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 </p> <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。 </p>																											
<p> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </p>																																					
<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
<p> 評定値（%）＝ 評定： _____ 配点： _____ </p>																																					

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II	品質 機械設備工事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
			<p>対 評 象 価</p> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設してあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるように工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行なうなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。
該当項目が90%以上 …… a 該当項目が80%以上90%未満 …… a' 該当項目が70%以上80%未満 …… b 該当項目が60%以上70%未満 …… b' 該当項目が60%未満 …… c			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。						
評定値（%）＝ 評定： _____ 配点： _____									

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II	品質 電気設備工事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
			<p>対評価</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の様を満足していることが確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部分及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____ _____）</p> <p>該当項目が90%以上 …… a 該当項目が80%以上90%未満 …… a' 該当項目が70%以上80%未満 …… b 該当項目が60%以上70%未満 …… b' 該当項目が60%未満 …… c</p>						<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 評定値（%）＝ 評定： 配点： </div>									

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II	品質 通信設備工事・受変電設備工事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
			<p>対評価 □□ 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。</p> <p>□□ 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認ができる。</p> <p>□□ 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績書等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p>□□ 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p>□□ 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p>□□ 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。</p> <p>□□ 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。</p> <p>□□ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p>□□ 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p>□□ その他（理由： _____ _____）</p>						<p>□ 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>
<p>該当項目が90%以上 …… a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 …… a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満 …… b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満 …… b'</p> <p>該当項目が60%未満 …… c</p>						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評定値（%）＝</p> <p>評定： 配点：</p> </div>									

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II	品質 維持修繕工事	配点：+15.0	配点：+12.0	配点：+7.5	配点：+4.0	配点：0	配点：-12.5	配点：-25.0
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
			<p>対評価 【防雪柵設置工事（組立、収納、撤去）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 支線の設置方向及びタウンバックルの締付けが適切であり、堅固に固定されている。 <input type="checkbox"/> 返納材料が部材毎に整理され、指定保管場所に適切に集積されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締め付けボルト、固定金具の取り付け状況を入念に点検し、施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 部材形状がきめ細かに調整され、各スパンが均一に施工されていることが確認できる。 <p>【舗装道維持修繕工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合報告書により、適切な混合物の規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装が入念に実施されており、周縁部の確実な密着が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工面の水、ゴミ等の有害物を除去後に舗装したことが確実に確認できる。 <input type="checkbox"/> タックコート材が適切な方法により均一に散布又は塗布されており、確認できる。 <p>【道路維持修繕工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料（二次製品）の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 基礎、支柱が沈下しないよう、設置孔の基礎部が十分締め固められ、堅固に建て込まれている。 <input type="checkbox"/> 取り替え前に、既存部材の形状等がきめ細かに調整され、支障なく本来の機能が確保されている。 <input type="checkbox"/> 蓋掛け前に、施工区間内側溝の清掃が実施され、蓋のガタツキがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物、道路付属物周辺の除草、伐採が実施されている。 <input type="checkbox"/> 道路パトロールが適正に実施され、交通障害の防止及び作業計画の作成がきめ細やかに行われていることが、書類で確認できる。 <p>【河床整理工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 着工前に適正に測量し、監督員と協議し施工している。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 土砂等の流出、既存施設への影響が生じないように適正に施工している。 <input type="checkbox"/> 灌木等の伐採漏れがなく、対象範囲を確実に整理している。 <input type="checkbox"/> 伐採及び撤去物の処理が適正に行われていることが確認できる。 <p>【さく井工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ケーシング管が掘削孔の中心に鉛直に建て込まれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 井戸崩壊や埋没が発生しないよう、ケーシング管の建て込みを段取りよく実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ストレーナが掘削孔の中心に据え付けられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 砂の含有量が20mg/L以下であることが確認できる。 <p>【橋梁補修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 <p>【上記工事の追加項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） 					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。</p>
			<p>該当項目が90%以上 …… a 該当項目が80%以上90%未満 …… a' 該当項目が70%以上80%未満 …… b 該当項目が60%以上70%未満 …… b' 該当項目が60%未満 …… c</p>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 評価数 / 対象評価項目数 × 100</p>	
			<p>評定値(%) = _____ 評定： _____ 配点： _____</p>						

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																		
3	II 品質	その他の工事又は合併工事	<A>	配点：+15.0	配点：+12.0	配点：+7.5	配点：+4.0	配点：0	配点：-12.5	配点：-25.0																																	
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																																	
			 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙-4 参照 					<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。 																																	
			対象評価 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所以外の部分に損傷を与えないよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件を考慮して施工したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対応できる体制を整えていたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期や施工場所について地域や環境への配慮をしたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削箇所において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の品質照合の種類（現物照合）が整理されており、設計図書で指定する品質を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 対象物に有害なクラック、損傷が無い。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） 																																								
			<A>対象工事がばらつきによる評価が不適切な場合 <ul style="list-style-type: none"> 該当項目が90%以上 …… a 該当項目が80%以上90%未満 …… a' 該当項目が70%以上80%未満 …… b 該当項目が60%以上70%未満 …… b' 該当項目が60%未満 …… c なお削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。				対象工事がばらつきによる評価が適切な場合 <ul style="list-style-type: none"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 																																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<table border="1"> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>75%以上90%未満</td> <td>60%以上75%未満</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>				評価値	90%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満	60%未満
	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																							
	50%以下	80%以下	80%を超える																																								
90%以上	a	a'	b	b																																							
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																							
60%未満	b'	c	c	c																																							
評価値	90%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満	60%未満																																							
			評定値(%) = _____ 評定： _____ 配点： _____				評定値(%) = _____ 評定： _____ 配点： 0																																				

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄口にしを、評価できる場合は評価欄口にしを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
			配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0		
3	II	品質	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 （判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断は別紙-4参照</p>					<p>□ 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p>□ 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。</p>	
			<p>対評価 【共通】 □□ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □□ 既設構造物に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。 【浚渫・床掘関係】 □□ 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 □□ 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 【地盤改良関係】 □□ 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 □□ 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 □□ サンドドレーン・砕石ドレーン・サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 □□ ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込み記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 □□ 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 □□ 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 □□ 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 【マット、捨石及び均し関係】 □□ 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等（現物照会を含む）で確認できる。 □□ マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 □□ 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 □□ 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損なく施工され、記録により確認できる。 【本体：杭及び矢板、控工関係】 □□ 鋼材の品質及び数量が、証明書類又は現物により確認できる。 □□ 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。 □□ 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。 □□ 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 □□ 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。 □□ タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 □□ タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 □□ 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 【本体：ケーソン仮置、ブロック据付関係】 □□ ケーソン仮置に先立ち仮置き場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。 □□ ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 □□ ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 □□ コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 □□ ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 【コンクリート関係】 □□ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 □□ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □□ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □□ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） □□ コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>			
<p>出来形及び出来ばえ</p>											
<p>港湾築造工事―浚渫・海岸築造工事を含む―</p>											
<p>評定値(%) =</p> <p>評定： 配点：</p>											

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄口にしを、評価できる場合は評価欄口にしを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
			配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0		
3	II	品質 道路改良工	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 （判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4参照</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。</p>	
			<p>対評価 【土工】</p> <p><input type="checkbox"/> 施工基面を平坦に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削条件で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面植生工を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土質にあった締固め密度管理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部が無い。 <input type="checkbox"/> 抜開除根が適正になされ、処理されていることが確認できる。</p> <p>【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工】</p> <p><input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さ（厚層）の施工については設計図書に基づいて行っているのが確認できる。</p> <p>【コンクリート又はモルタル吹付工】</p> <p><input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が仕様書のとおり施工され、仕上げ面から適切な間隔を保ち固定されていることが確認できる。</p> <p>【現場打法砕工、プレキャスト法砕工】</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の規格・品質が適正であり、証明書等が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠のかみ合わせが正しく滑動しないように積み上げていることが確認できる。</p> <p>【路床、路盤】</p> <p><input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立ち、土質及び湧水などについて現地調査を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床の密度及び支持力の管理が適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 下層路盤工の密度管理が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>【排水工】</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の規格・品質が適正であり、証明書等が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げており、平坦に据え付けられると共に蓋等の取まりがよく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 側溝及び水路の仕上がり面と排水面との整合がとれ、良好な排水が確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物との取り合いと曲線部の施工が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>【小規模擁壁工】</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の品質照合の書類（現物照合）が整理されており、設計図書で指定する品質を満足していることが確認できる。</p> <p>【その他の工種】</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由：_____） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）</p>								
			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>								

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

評定値(%) = _____
 評定： _____ 配点： _____

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	歩道工事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
			<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照</p>			<p>□ 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>			<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。</p>																												
<p>対 評 象 価 【構造物等】</p> <p>□□ コンクリート側溝が平坦に仕上げられ、蓋の収まりが良くガタツキがないことが確認できる。</p> <p>□□ 端部の取り合いや曲線部の処理に創意工夫がなされ、きめ細かに施工されていることが確認できる。</p> <p>□□ 二次製品の品質・規定が適正であり、証明書等が整備されていることが確認できる。</p> <p>□□ コンクリート構造物（人孔含む）周辺の清掃がなされていることが確認できる。</p> <p>【土工】</p> <p>□□ 掘削を行うにあたり、路床面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</p> <p>□□ 締固めを適正な条件で施工していることが確認できる。</p> <p>【路盤・舗装工】</p> <p>□□ 平板、レンガ、タイル舗装等の目地に目違いがなく、共通仕様書に定められたとおり処理されていることが確認できる。</p> <p>□□ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。</p> <p>□□ 表面排水が良好であることが確認できる。</p> <p>【付属設備・付帯工】</p> <p>□□ 付属構造物・製品等の規格、品質、性能が成績証明書で確認でき、満足している。</p> <p>□□ 付属構造物・製品等の配置がきめ細やかで、全体機能のバランスがよい。</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数／対象評価項目数×100</p>																																		
<p>評定値（％）＝ 評定： 配点：</p>			<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	電線共同溝工事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4参照				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																												
対評価			<input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等においてアスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時に行なわれ、路面の沈下や不陸がなく平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																		
			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数／対象評価項目数×100																																		
			●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。								ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評定値（％）＝ 評定： 配点：																																					

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	上下水道工事	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4 参照</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。</p>																											
			<p>対評価</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書等が整備されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 管渠または水道管理設（管敷設・矩形管渠埋設・推進・シールド）工において出来形管理基準を満足しており、目立った屈曲や沈下がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 裏込材が適正に注入されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 管渠において漏水箇所がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 管渠継ぎ手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> マンホール又は弁室において、出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール、止水ゴムが適正に使用されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> マンホール又は弁室において、各部材にはクラック等がなく、漏水がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> マンホール又は弁室の足掛け金物の位置、方向が適正であり、鉄蓋位置においては、ガタツキがなく仕上がり天端高も適正であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> インバートは形状、勾配等が適正で漏水がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> インバートはその表面仕上げが適正であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設内（管内を含む）に土砂、モルタル、材料の破片等がなく、清掃されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 掘削時の土留め方法や推進時の推進方法による周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、締固めが適正な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 舗装、縁石、柵、標識等の道路付属物の復旧が適正に行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 管及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 曲げ配管において管の許容曲げ角度（偏位）を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 全接合箇所における作業チェックシートが完備され、確実に接合が行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ポリエチレンスリーブが全面に施工されており、その固定も確実であることが確認できる。</p>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（%）＝評価数／対象評価項目数×100</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																													
			<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			<p>評定値(%) =</p> <p>評定： 配点：</p>																																		

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3 出来形及び出来ばえ	II 品質	側溝水路工事（二次製品）	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																														
			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4参照				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																														
			対評価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の品質・規定が適正であり、証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 掘削面以下を乱さないように入念に施工され、施工基面が平坦に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート側溝周辺の締固め等の処理が適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 補修痕等がなく、施工方法が適正に行われていることが、工事中写真等の記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製品が平坦に仕上げられ、蓋の収まりがよくガタツキがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既設構造物との取り合いと曲線部の施工が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 側溝・水路の仕上がり面と排水面と整合がとれ、良好な排水が確認できる。																																				
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																							
●判断基準																																							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																							
			評定値(%) = 評定： 配点：																																				

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 評価対象である場合は対象欄□にレを、評価できる場合は評価欄□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3	II	品質	配点： +15.0	配点： +12.0	配点： +7.5	配点： +4.0	配点： 0	配点： -12.5	配点： -25.0																												
			アンカー工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照） 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙－4参照				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法及び測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。																											
			対評価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 削孔に際して孔内周辺を乱していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 削孔長が写真等により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 削孔内の清掃が写真等により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質・規格証明等が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 締付け及び固定金具の取り付け状況を入念に点検し施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工後、測定器により定着長を確認し、その記録を残している。																																		
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数／対象評価項目数×100 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																					
●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>											ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつき判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>評定値(%) =</td> <td>評定：</td> <td>配点：</td> </tr> </table>										評定値(%) =	評定：	配点：																									
評定値(%) =	評定：	配点：																																			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	コンクリート 構造物工事、 砂防構造物工事、 海岸工事、 トンネル工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態がよい。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	土工事 （盛土・築堤工事等）	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	切土工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 5 項目以上・・・ a</p> <p>該当 4 項目・・・ b</p> <p>該当 3 項目・・・ c</p> <p>該当 2 項目以下・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>評定： 配点：</p> </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	河川工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 植生の状態が均一である。			
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	鋼橋工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	地すべり防止工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 3 項目以上・・・ a</p> <p>該当 2 項目・・・ b</p> <p>該当 1 項目・・・ c</p> <p>該当項目なし・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; justify-content: space-between;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	舗装工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;"> <p>評定： 配点：</p> </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	法面工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 3 項目以上・・・ a</p> <p>該当 2 項目・・・ b</p> <p>該当 1 項目・・・ c</p> <p>該当項目なし・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; width: 100%; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	基礎工事（地盤改良等を含む）	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※地盤改良はc評価とする。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・ a</p> <p>該当2項目・・・ b</p> <p>該当1項目・・・ c</p> <p>該当項目なし・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; width: 100%; margin: 0 auto; display: flex; justify-content: space-around;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	コンクリート橋上部工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の考查項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考查項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	塗装工事（工場塗装を除く）	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div><input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。</div> <div><input type="checkbox"/> 細部まできめ細かい施工がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。</div> <div><input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。</div> <div><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</div> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 4 項目以上・・・ a</p> <p>該当 3 項目・・・ b</p> <p>該当 2 項目・・・ c</p> <p>該当 1 項目以下・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	公園・植栽工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部仕上げ及び目地仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 関係構造物との取り合いが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 舗装、クレイ表層、舗石、平板、ブロック等の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 地被類、植生芝、種子吹き付け等の状態が均一である。 </div>			
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;"> 評定： </div>			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;"> 配点： </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	防護柵（網）工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	標識工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 設置位置は適正になっている。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	区画線工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	機械設備工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、 運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細微に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 4 項目以上 a</p> <p>該当 3 項目 b</p> <p>該当 2 項目 c</p> <p>該当 1 項目以下 d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> <p>評定： 配点：</p> </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	電気設備工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div><input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。</div> <div><input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。</div> <div><input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</div> </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	維持修繕工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 小構造物にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 3 項目以上・・・ a</p> <p>該当 2 項目・・・ b</p> <p>該当 1 項目・・・ c</p> <p>該当項目なし・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; width: 100%; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	電線共同溝工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装（仮復旧舗装を含む）の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 </div>			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 3 項目以上・・・ a</p> <p>該当 2 項目・・・ b</p> <p>該当 1 項目・・・ c</p> <p>該当項目なし・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>評定： 配点：</p> </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	通信設備工事・受変電設備工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div><input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。</div> <div><input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</div> <div><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</div> </div>			
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;"> 評定： </div>			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;"> 配点： </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	港湾築造工事 （海岸築造工事を含む）	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 4 項目以上 a</p> <p>該当 3 項目 b</p> <p>該当 2 項目 c</p> <p>該当 1 項目以下 d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; width: 100%; margin: 0 auto; display: flex; justify-content: space-around;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	港湾浚渫工事（地盤改良工事を含む）	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 浚渫及び盛上がり等の土砂が適切に処理されている。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 3 項目以上・・・ a</p> <p>該当 2 項目・・・ b</p> <p>該当 1 項目・・・ c</p> <p>該当項目なし・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	ブロック製作工事（ケーソン陸上製作工事を含む）	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端仕上げなどが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 4 項目以上・・・ a</p> <p>該当 3 項目・・・ b</p> <p>該当 2 項目・・・ c</p> <p>該当 1 項目以下・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>評定： 配点：</p> </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	側溝・水路工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックがない。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 4 項目以上 . . . a</p> <p>該当 3 項目 b</p> <p>該当 2 項目 c</p> <p>該当 1 項目以下 d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; width: 100%; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	歩道工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物間の取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 5 項目以上・・・ a</p> <p>該当 4 項目・・・ b</p> <p>該当 3 項目・・・ c</p> <p>該当 2 項目以下・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>評定： 配点：</p> </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d	
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	道路改良工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0	
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物の取り合いが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 5 項目以上・・・ a</p> <p>該当 4 項目・・・ b</p> <p>該当 3 項目・・・ c</p> <p>該当 2 項目以下・・・ d</p> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">評定：</td> <td style="padding: 5px;">配点：</td> </tr> </table> </div>
評定：	配点：						

工事成績採点の考查項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考查項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	上下水道工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 付属構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 継ぎ手部及び連結部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 埋戻し及び路面復旧の状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。			
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> 評定： </div>			<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	アンカー工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当 4 項目以上・・・ a</p> <p>該当 3 項目・・・ b</p> <p>該当 2 項目・・・ c</p> <p>該当 1 項目以下・・・ d</p> </div>			
			<div style="border: 1px solid black; width: 100%; margin: 0 auto; display: flex; justify-content: space-around;"> 評定： 配点： </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	その他の工事 又は 合併工事	配点： +5.0	配点： +2.5	配点： 0	配点： -5.0
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 施工対象物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> クラック、隙間、ガタツキ等が無い。 <input type="checkbox"/> 総合的な機能が良い。 <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ </div> <p style="margin-top: 10px;">※該当工種からの評価対象項目で評価を行う。 ただし、評価対象項目は最大5項目とする。</p>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・ a</p> <p>該当4項目・・・ b</p> <p>該当3項目・・・ c</p> <p>該当2項目以下・・・ d</p> </div> <div style="margin-top: 20px; display: flex; justify-content: center; gap: 50px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評定： </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 配点： </div> </div>						

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）

（第三次評定者）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレを記入する。

考査項目	総合評価方式の該当項目一覧表		
8 総合評価方式	総合評価技術提案確認		減点数
<input type="checkbox"/> 対象外	総合評価方式を採用しなかった。または、条件変更により技術提案の履行が不要となった場合。	-	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 評点： </div>
<input type="checkbox"/> 履行	技術提案の履行が確認できた。	-	
<input type="checkbox"/> 不履行	技術提案の履行が確認できない場合。 (-5点) 不履行の技術提案を記載 (_____ _____ _____ _____ _____ _____ _____)		
※総合評価方式の技術提案が受注者の責により履行されなかった場合は、 上表により工事成績評定点を減点する。			